

〈提案1〉

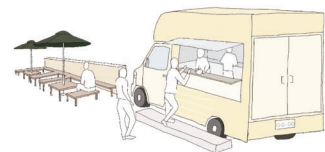
# アキチをマチに変える2つのSTEP

**現状** エリア内に点在する空き地はそれぞれが小規模で道路によって分断され、meetなどの活動によるイベント時には人があつまるものの、日常的に人が集まる空間とはなりにくい。また商業施設も分散し、一体的な賑わいを形成することが難しい。エリア内には相当数の居住人口があるものの、その活動は屋内にとどまり外を歩いている人は少ない。

**STEP1**

外へ出たくなるきっかけ作り（賑わい形成）

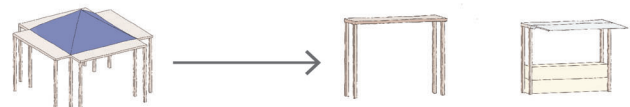
オフィスなどの職場がある通りにベンチや椅子を設置し、屋外で昼食を取れるような環境作りを行う。



つかう Meet 活動の一環として、空き地にキッチンカーを誘致し、昼休みの賑わいの拠点形成。これを継続して行うことで、日常的にキッチンカーなどの仮店舗が集まり、今まで室内にいた人々も外に出て、街に賑わいが生まれる。

シーホースブルーパビリオン

つかう Meet のイベント参加者のアンケートに休憩できる木陰が欲しいという要望が多くみられた。アリーナ動線に沿って空き地に JR 在来線、新幹線駅舎に用いられている三角形の屋根形状を取り入れたパビリオンを設置し、影のある休憩スペースを確保する。



このパビリオンは分解、移動が可能で、高さが自由に変えることの出来る棚や電源を装備しており、マルシェやバザーなど様々なイベントに対応できる。三角形の屋根はデンマークの街並みを彷彿とさせるとともに、シーホースのテーマカラーであるシーホースブルーの青を採用しシーホースのホームタウンとしてのイメージ定着を図る。

**STEP2**

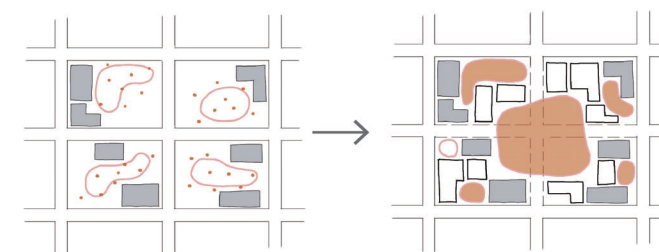
道路を広場に

近い将来都市においてはシェアモビリティやパーソナルモビリティの普及、自動運転車の実用化によって、これまで車の通行空間であった道路が歩車共存空間に変化し、歩道、車道の区別がなくなると予想されている。この動きと連動してエリア内においても主要幹線道路以外の道路の車道アスファルトを石やレンガなどの自然素材舗装に変え、**広場のような空間**に改修することで、人々が道路を渡って自由に街を回遊できるような、まちの空間形成を図る。



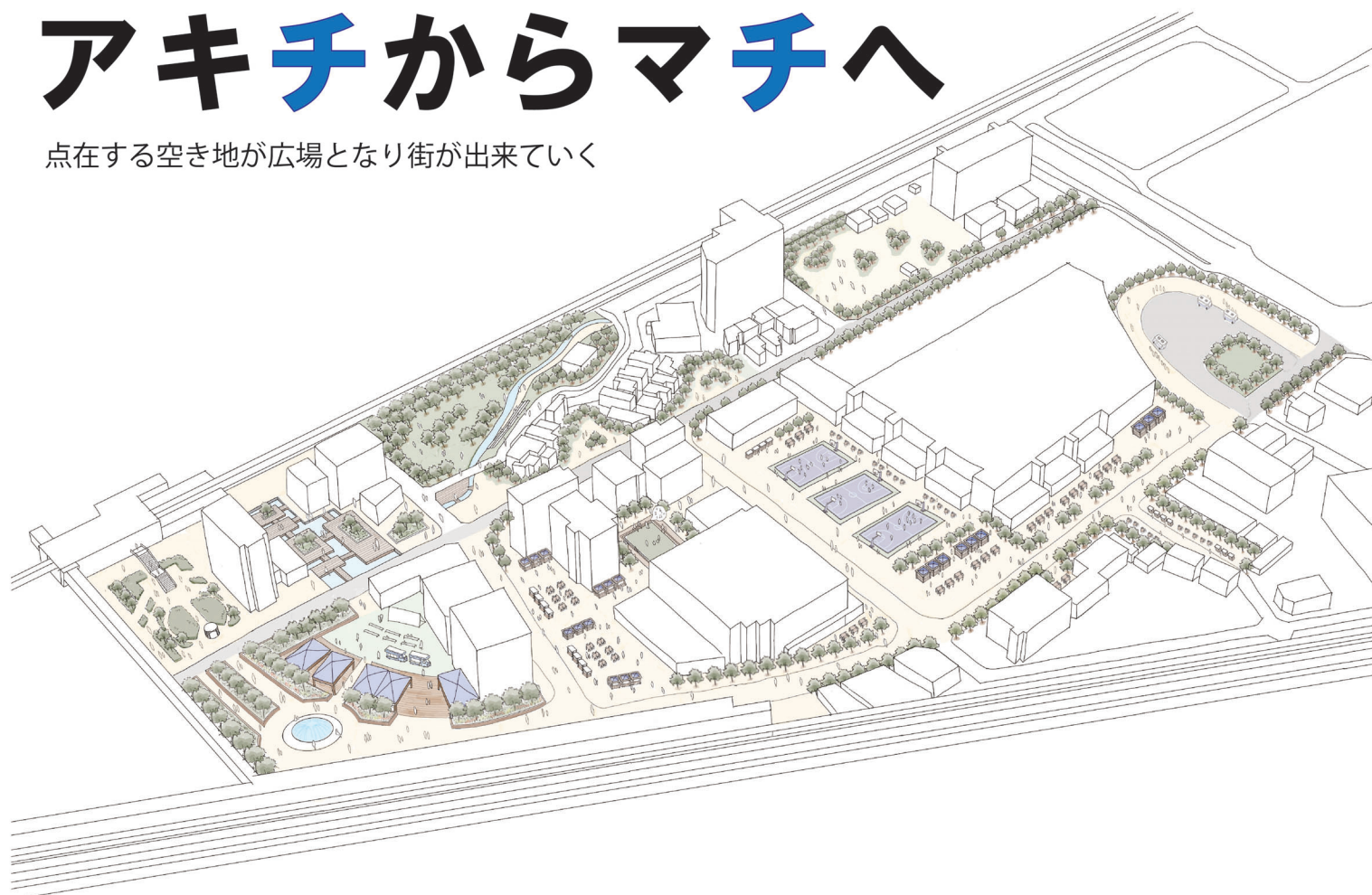
広場と建物による賑わい空間の形成

道路を広場に変えることで道路を挟んで向かい合っている建物は広場を囲む建物となる。広場を囲む建物の低層部は広場に顔を向けた商業施設に改修する。さらに将来、このような広場を囲む建物を増やし、ヨーロッパの都市に見られるような広場とそれを囲む建物が**連続する都市空間**の形成を目指す。



# アキチからマチへ

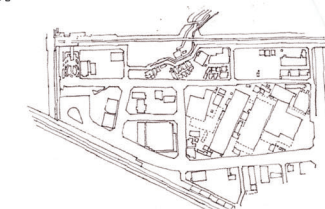
点在する空き地が広場となり街が出来ていく



Step 1、Step 2に継続して取り組むことで、空き地が点在し人々が流るだけの現在のまちが、人が集まり滞在する空間となり定期的な賑わいが生まれ、アキチがマチになってゆく。



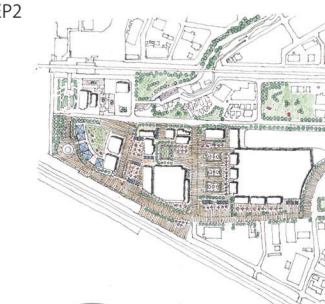
現状



STEP1



STEP2

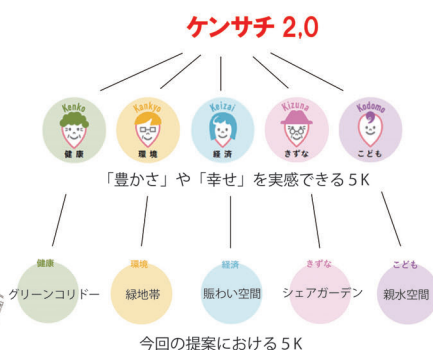
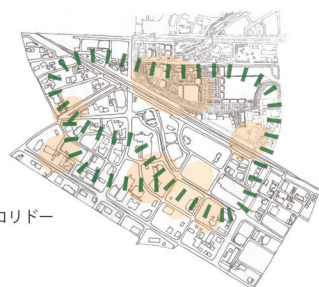


## 対象区域全体整備方針

グリーンコリドーとマチがつくる未来の都市

まち全体（対象区域）においてもアキチは2つのステップによってマチに変わって行く。

駅前（必須提案区域）から延びるグリーンコリドーはまち全体（対象区域）を回遊し、マチを連携する。このプロセスを経て、グリーンコリドーによってつながったマチが拠点分散型の未来の都市を形成する。



〈提案2〉

## 市民とまちの「きずなを生む」駅前広場

**現状** 駅前広場には木々はあがるが花などの彩りがなく殺風景な景観となっている。

駅前広場にデンマークの風景を駅のモデルとなったデンマークの風景をモチーフに花壇によって駅前広場を彩る。市民が都市の緑を育むシェアプランターを設置する。公共空間にある植物を市民が育てることで、この場所の景観を任されている使命感と、住んでいる三河安城市を身近に感じられるきっかけになり、安城市の政策にある「きずな」が醸成される。



〈提案3〉

## 市民のための水と緑の回廊形成

**現状** 明治用水はエリア内においてはその大部分が暗渠となり、地上からは水辺の潤いを感じることができない。

生まれ変わる明治用水  
この親水空間を拠点として、計画地外周部を回遊するように緑の回廊（グリーンコリドー）を整備し、ウォーキング、ランニングに活用することで市民の健康促進を図る。かつて三河安城市を農業先進都市として発展させてきた明治用水が、夏場の子供たちの水遊びや、大人にとってのリラックス空間として活用され、「こども」から大人まで楽しめる空間として生まれ変わる。

